

1. 趣旨

「文部科学省の使命と政策目標」の実現に向けて文部科学省が平成18年度に取り組んだ施策について実績評価を実施

2. 実績評価書の内容

9政策目標及び44施策目標の下167達成目標ごとに以下を記載

- ・評価の判断基準
- ・平成18年度の状況、指標、参考指標
- ・評価結果(SABCの4段階)
- ・今後の課題及び政策への反映方針
- ・施策目標について、関連する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)
- ・達成目標について、主な政策手段

3. 主な改善点

本年度においては、主に以下の各点を改善

評価結果の予算要求等への反映を充実

評価の判断基準の一層の明確化及び評価の重点化・効率化

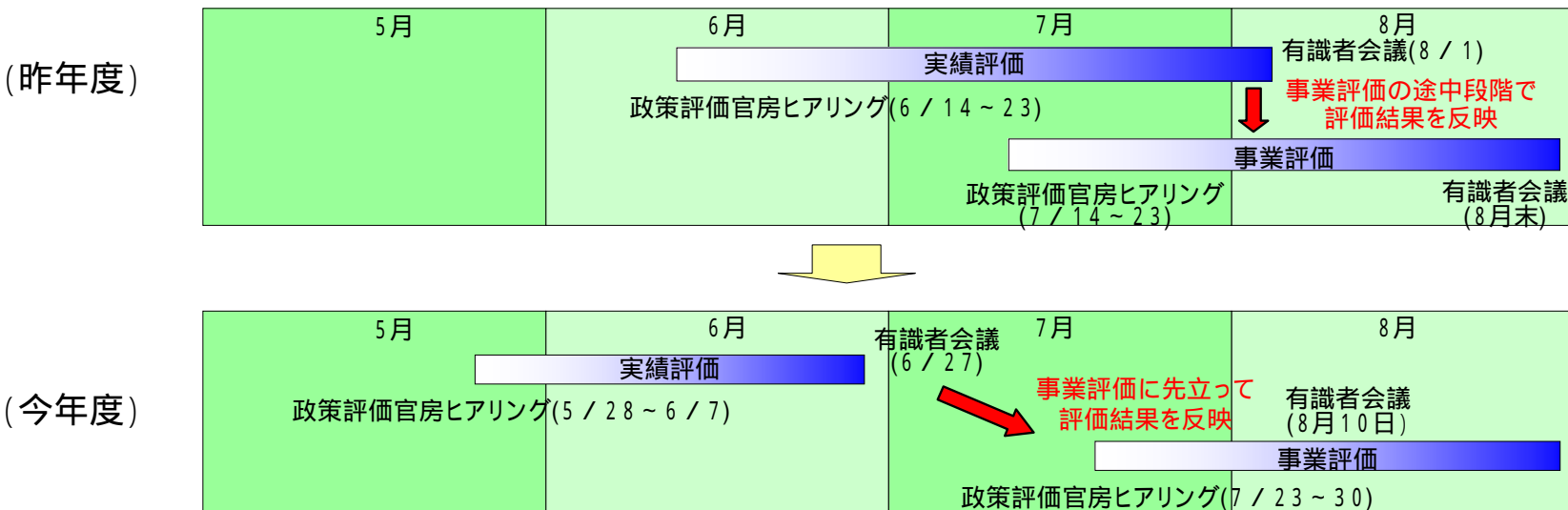
施策の成果を定量的に把握するための指標を充実

評価票や評価形式を改善し、内容を把握しやすくするとともに事務を簡素化

評価結果の予算要求等への反映を充実

政策のマネジメントサイクル(PDCAサイクル)を機能させることを目的として、実績評価の結果を予算要求作業や事業評価により適確に反映させるため、実績評価の実施時期を1ヶ月程度早めた。

「昨年度及び今年度の政策評価実施スケジュール」

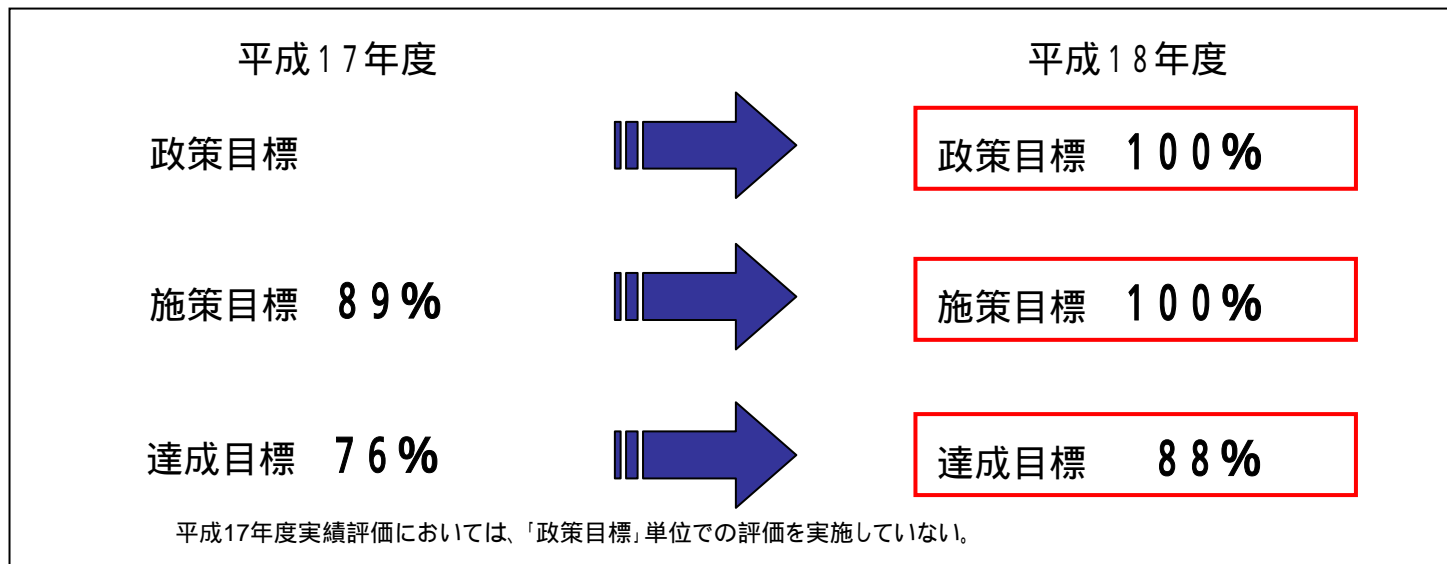


「経済財政改革の基本方針2007」(平成19年6月19日閣議決定)等を受け、平成20年度予算から、政策ごとに予算と決算を結び付け、予算とその成果を評価できるようにすることを踏まえ、予算書の表示科目の単位である「項」に対応する「政策目標」単位での評価を実施。

評価の判断基準の一層の明確化及び評価の重点化・効率化

政策目標、施策目標及び達成目標について、定量化等により評価の判断基準を明確化した。

「定量化等により判断基準を明確化している政策目標、施策目標及び達成目標」



評価の重点化・効率化に資するため、類似・重複等がある達成目標を整理・統合するとともに、複数の施策目標にまたがる達成目標の重複掲載を省略。

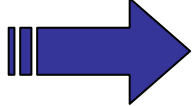
「達成目標の数」



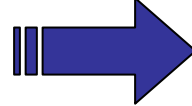
施策の成果を定量的に把握するための指標を充実

各施策の成果を定量的に把握するための指標や参考指標をより充実させ、目標の達成度合いの測定の客観性の向上を図った。

「施策目標や達成目標の評価結果の判断に直接結びついた指標の数」

平成17年度 335件  平成18年度 404件

「施策目標や達成目標の評価結果の判断の材料とした参考指標の数」

平成17年度 123件  平成18年度 52件

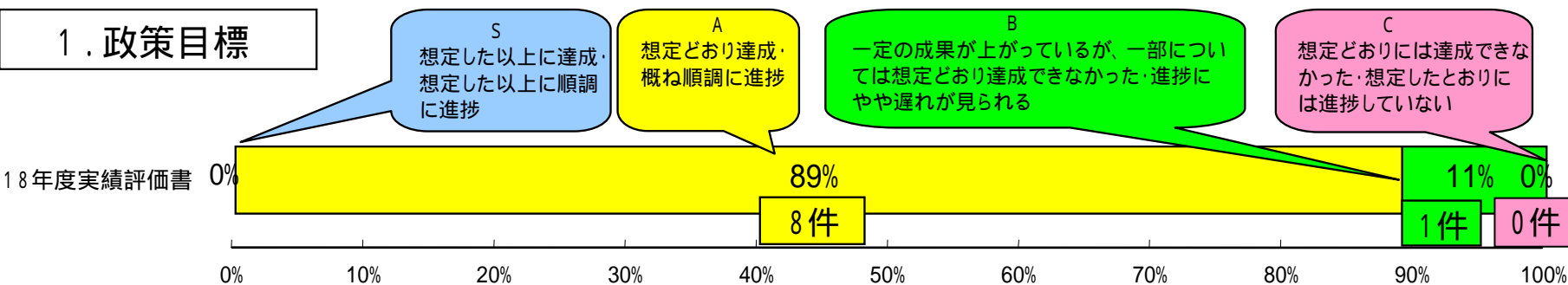
評価票の様式や評価形式を改善し、内容を把握しやすくするとともに事務を簡素化

「判断基準」、「現状の分析と今後の課題」などの項目ごとに複数の目標が混在する記載を、政策目標・施策目標・達成目標ごとに内容を整理して記載することで、目標ごとの状況を一覧できるように変更。

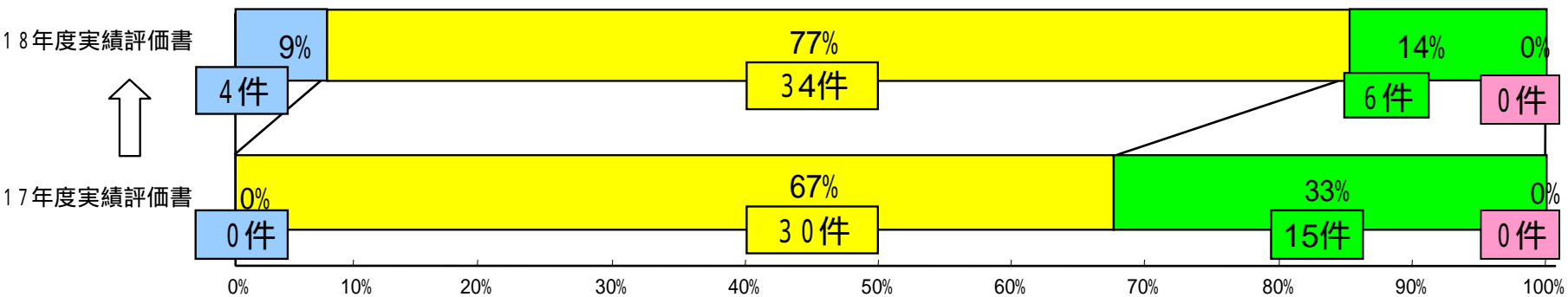
評価票の類似の項目を統合するなど様式を見やすく変更。

4. 政策目標・施策目標・達成目標の達成度合いのまとめ

1. 政策目標



2. 施策目標



3. 達成目標

